

第6回 オンライン授業情報交換会 評価2

東京大学
大学総合教育研究センター

栗田 佳代子
吉田 壘

オンライン授業・Web会議
ポータルサイト（日々更新中）

<https://utelecon.github.io/>

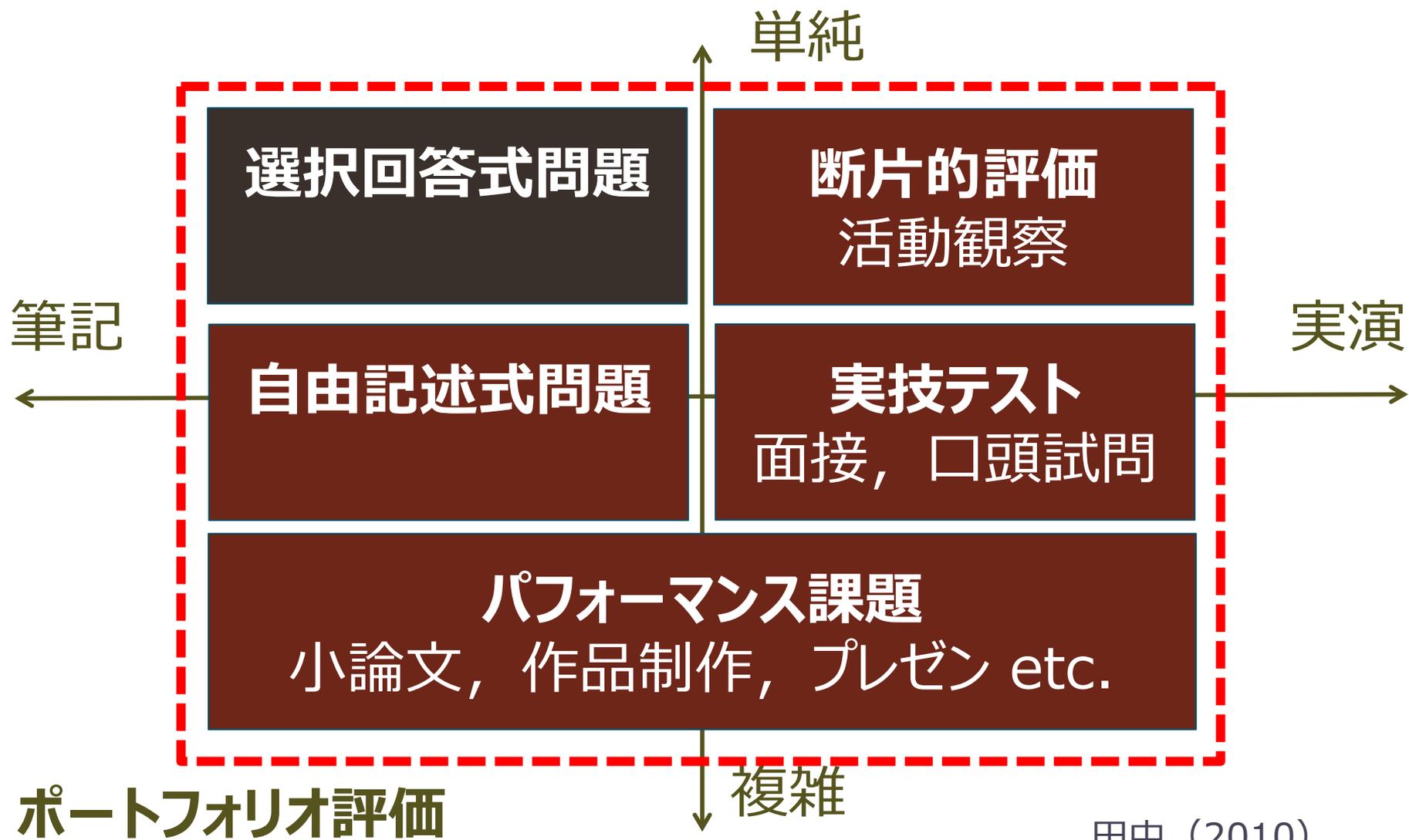
2020年5月20日

目次

- 評価の方法
- レポートの評価:ループリック
- 相互評価の方法
- 参考情報

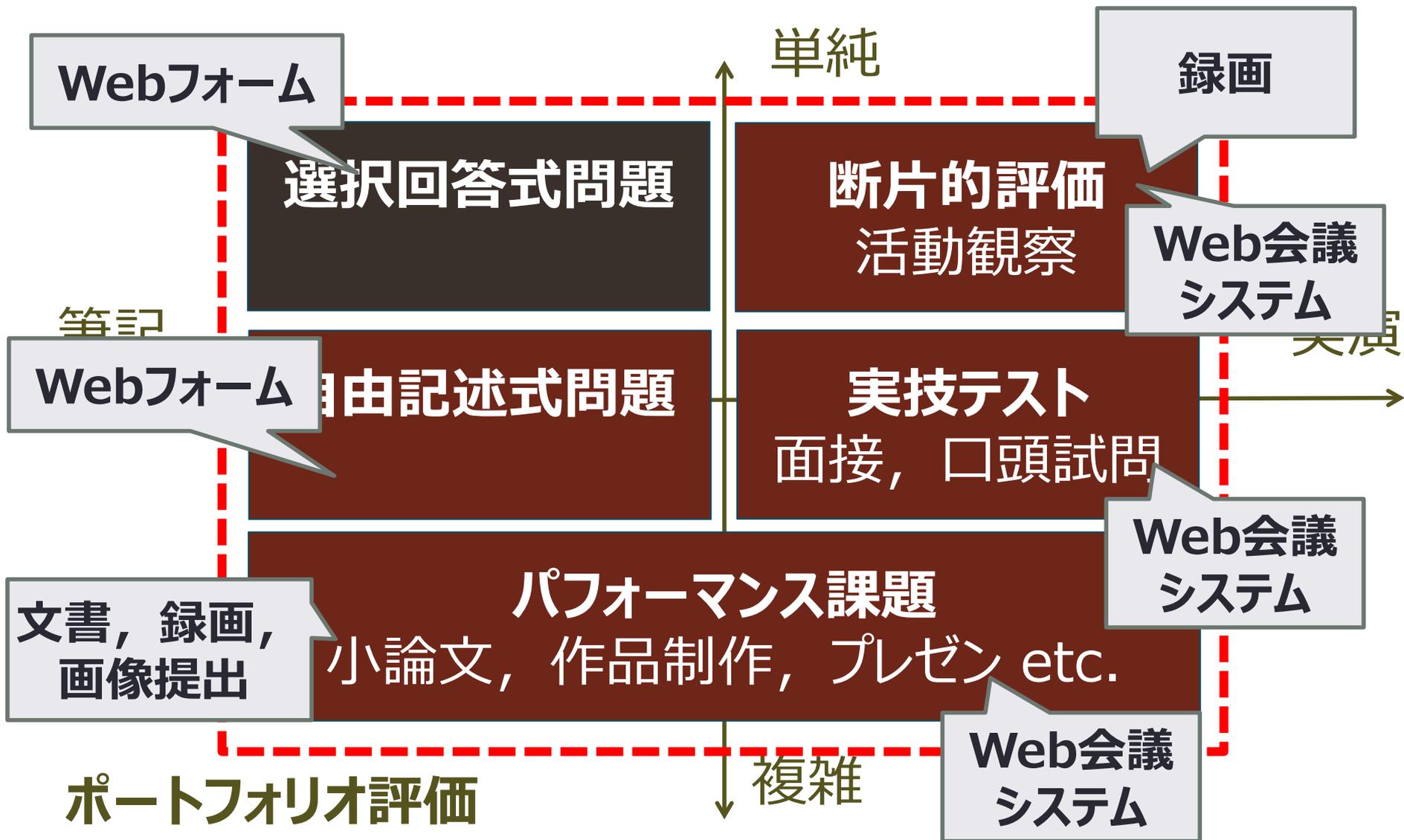
本会，録画して学内公開予定です

評価の方法



田中 (2010)

各方法はオンライン授業でも実施可能



相互評価 Peer Assessment

- 学生が相互に評価を行う
 - 自己調整型学習の手段
 - Butler, D. L., & Winne, P. H. (1995). Feedback and self-regulated learning: A theoretical synthesis. *Review of educational research*, 65(3), 245-281.
 - 明確な基準が示されていれば信頼性あり（= 教員による評価との相関有り）
 - Falchikov, N., & Goldfinch, J. (2000). Student peer assessment in higher education: A meta-analysis comparing peer and teacher marks. *Review of educational research*, 70(3), 287-322.

具体的手続き

- (教員) 課題を提示する
- (学生) 課題に取り組み提出する
- (教員) 学生に3-5名の課題を無作為に割り当てる
- (教員) この評価のための**評価基準の提示**や練習を学生に行ってもらおう
- (学生) 割り当てられた課題の評価を行い結果を提出する
- (教員) 学生の評価結果をとりまとめる
 - 成績にくみいれる場合には、学生の評価結果を下採点として扱い、確認した上で扱う
 - 各学生に評価結果を返却する

相互評価参考情報

- マギル大学
 - <https://www.mcgill.ca/tls/instructors/assessment/peer>
 - かなり詳しい解説や課題例が紹介されています
- アイオワ州立大学
 - <https://www.celt.iastate.edu/teaching/assessment-and-evaluation/peer-assessment/>
 - 手続きも含め、文献を引用しながら具体的に解説されています
- MOOCプラットフォームedXのスコア計算方法
 - <https://support.edx.org/hc/en-us/articles/360000192027-How-are-peer-assessment-scores-calculated->
 - MOOC最大手の一つであるedXはスコア計算に中央値を用いています

ループリック

- ある課題をいくつかの構成要素に分け, その要素ごとに 評価基準を満たすレベルについて詳細に説明したものの

(スティーブンス & レビ, 2014)

- プロジェクトやパフォーマンスを評価する課題における評価軸の可視化
 - レポート課題, 演技などの評価しづらいものの評価方法

ルーブリックの一般的な使い方

1. 教員がルーブリック作成
2. 学生に課題とルーブリック配布
3. 学生はルーブリックを学習指針として課題に取り組む
4. 学生はルーブリックを課題に添付し提出（自己採点をして提出も有）
5. 提出物を教員が採点
6. 学生に返却

バリエーション

- * 学生がルーブリック作成に参加
- * 学生同士の相互評価

ルーズブリックによる学生の相互評価

1. 教員がルーズブリック作成
2. 学生に課題とルーズブリック配布
3. **ルーズブリックの理解（優れた例の配布、評価の練習）**
4. 学生はルーズブリックを学習指針として課題に取り組む
5. 学生はルーズブリックを課題に添付し提出（自己採点をして提出も有）
6. **相互採点（場合によっては複数、評価を行う場合は中央値）**
7. （相互採点されたものを教員が最終評価/確認）
8. 学生に返却

バリエーション

- * 学生がルーズブリック作成に参加
- * 学生同士の相互評価

参考情報

- ダネル・スティーブンス他 (2014) 「大学教員のためのルーブリック評価入門」 玉川大学出版部
- エリザベス・F・バークレイ, クレア・ハウエル・メジャー(著), 東京大学教養教育高度化機構アクティブラーニング部門(監訳), 吉田罌(監訳) (2020) 「学習評価ハンドブック アクティブラーニングを促す50の技法」 東京大学出版会
- 栗田佳代子・日本教育研究イノベーションセンター (2017) 「インタラクティブ・ティーチング」 河合出版
- ルーブリックについての解説動画
 - <https://www.utokyofd.com/?mov=kn-40>
 - <https://www.utokyofd.com/?mov=kn-41>

お知らせ

- トラブルサポート窓口ページを公開しました
 - <https://utelecon.github.io/supports>
- 週1～2回のペースで行っていきます
 - 次回は 5/29 を予定
 - トピック案
 - これまでのオンライン授業実施についての情報交換（全員参加型でブレイクアウトセッション機能を使って小グループで情報共有します）
- アナウンスは <https://utelecon.github.io/forums/> を参考に utelecon-announce のグループに登録すると開催案内を受け取ることができます